

家族でニコニコチャレンジ① 取り組みの様子



● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！ ●

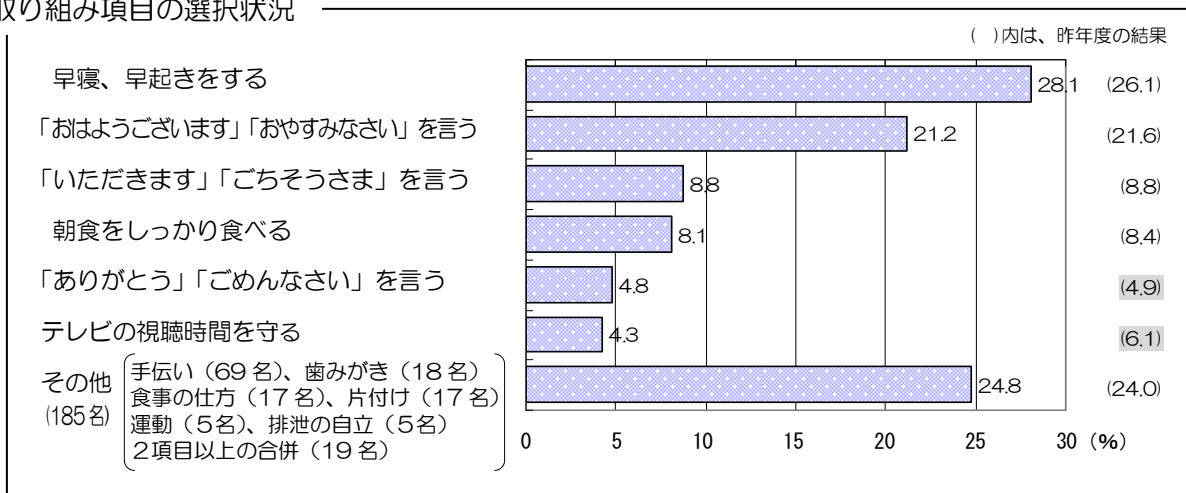
「家族でニコニコチャレンジ」第1回目の取り組みに関して、ご報告いただきました。今回も各家庭で積極的に取り組んだ様子が伺われました。我が子の生活の様子だけでなく、大人の生活の仕方を見直す良い機会となったようです。基本的な生活習慣の確立と自立心の育成に向けて、保護者の意識を高めるための働きかけの材料として、今回の取り組みをいかしていただきたいと思います。

<取り組み状況>

集計協力園 44園 / 49園

回収率…96.8% (報告園の提出者数 / 報告園での配布者数)

取り組み項目の選択状況



保護者からの感想等

《子どもの望ましい状況や見直しが必要な状況についての感想》

① 早寝・早起き等、自分で意識して取り組んでいる姿が見られた。

② 目標を決めると以前より早く布団に入る時間が早くなった。

③ 9時に寝るために、お風呂も早めに入り始めるなど、前倒していろいろ考えながら行動しているようであった。

④ 朝ぐすすることが多かったのが、チャレンジによって笑顔で挨拶できるようになった。このまま続けられれば良い。

⑤ 取り組みが始まってから、意識して自分から挨拶するようになった。このままずっと身につけてくれたらと思う。

⑥ 自分から進んで、近所の人にも朝の挨拶をしていて感心した。近所の人から褒められた。

⑦ 目標を決めてから、苦手な物に対する意識がかわって、がんばって食べようとする気持ちが伝わってきた。

⑧ いつもいえると思っていた挨拶が、意外と抜けていた。今回を機にきちんとおもうとする姿勢が見られた。

⑨ ニコニコチャレンジをするようになって、甘えず一人で着替えるようになった。手伝おうとすると、逆に「一人でやるからダメ！」と言われてしまった。

⑩ 「おはよう、おやすみ」は、毎日言えたが、「いただきます、ごちそうさま」「行ってきます」等を忘れることがあった。当たり前のことができていないことに気づいた。

《家族の関わり方に関する感想》

① 週末と水曜日は、寝るのが遅くなった。親がお起きているからですね。

③ 自分から自然に出てくる挨拶と促すものがあった。一言あるとなしでは、大違いだと思った。家族みんなで取り組みたい。

⑤ 小学生のノーテレビ週間に合わせて、テレビの視聴時間について兄弟一緒に取り組めてよかった。

② 朝ごはんをせかせて、挨拶がおろそかになってしまっていた。チャレンジに取り組んだことで見直せてよかった。

④ 子ども本人が見たいテレビのみだと1時間以内なのだが、親の見たいテレビもついていると子どもも見てしまい、守れなかった。

園からの感想等

《親子で取り組むことの効果に関わる感想》

① この取り組みをきっかけに家族みんなで意識して継続していきたいという声を沢山聞くことができたので良かったと思う。

③ 多数の家庭から、子どもに向けて「がんばったね。」等のねぎらいの言葉が見られ、嬉しく思った。

⑤ 取り組みの前半は、スムーズに進まないところもあったようだが、進めていくうちに「自分から」できるようになったようだ。継続することによって習慣づいていくことを期待したい。

⑦ 毎日意識して取り組めなかった家庭が見られた。もう少し園で働きかければよかった。

② ニコニコマークを記入したい一心で頑張ったり、記入により「頑張ろう!」という意識を持ったりする園児が見られ、とても効果があったと思う。

④ この取組みにより、希薄であった親子関係に絆が出来たように感じた。

⑥ 親と子のコミュニケーション作りにも役立ちながら、基本的な生活習慣の見直しや意識付けになった。印をつけるのを励みに良くがんばっていた記入が多かった。これをきっかけに生活を見直し、習慣づけることにより、効果につなげたい。

《第2回の取組みに向けて、園から家庭への働きかけの計画》 …回答のあった18園の記述より

- ◇ 学校便り・クラス便りに取組状況を掲載して、働きかける。(11園)
- ◇ 懇談会等で話題にして、働きかける。(4園)
- ◇ 取り組みカードを掲示して、昨年度と比較しながら意欲付けを図る。(1園)
- ◇ 休み中の頑張りカードで再度取り上げて、意識化を図る。(1園)
- ◇ 今回取り組まなかった家庭へも情報を提供等により、働きかける。(1園)

今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- ・ 各項目についての取り組み家庭の割合は、昨年度と大きな変化は見られない。1～4位までの取り組み順位は昨年度と同様であった。
- ・ 「テレビの視聴時間を守る」に取り組んだ家庭の割合は昨年度よりも減少し、最下位であった。
- ・ 保護者の感想からは、子どもの望ましい状況や見直しが必要な状況について気づいたり、大人の関わり方が子どもの生活に影響していることに気づいたりしている感想が見られた。
- ・ 園の感想からは、親が子どもに望ましい働きかけができたことを好意的に感じている感想や、園から保護者への働きかけ方を工夫し効果を上げようと、さらに積極的に取り組もうとする意欲の感じられる感想が見られた。

☆ 次回の取組みに向けて ☆

- ・ チャレンジの取り組み状況について、懇談会の話題やお便りの記事として取り上げ、各家庭に大人の関わり方の大切さを伝えながら、意欲的な取り組みを促すようにする。
- ・ テレビの視聴時間については、昨年度末の実態調査結果から、親の意識の薄さと、子どもの長時間視聴している傾向が見られるので、チャレンジ項目として目を向けるよう、事例集や懇談会等で働きかけるようにする。
- ・ その他の項目で多く取り組まれた手伝いの実施については、自立心の育成の面から重視したいが、基本的な生活習慣の確立ができてきているかどうか、振り返ることも大切にする。